

2013 年度前期 工学部建築学科 授業評価 目次

授業コード	授業科目名	開講時限等	担当教員	ページ
T1N003001	建築の構造	1 年前期金曜 2,3 限 1 期	和泉 信之	T1N 1
T1N012001	建築設計学	2 年前期火曜 2 限	鈴木 弘樹	T1N 2
T1N015001	建築環境計画 I	2 年前期月曜 1 限	宗方 淳	T1N 3
T1N019001	建築材料	2 年前期水曜 2 限	前田 孝一	T1N 4
T1N029001	施設デザイン計画 I	3 年前期月曜 4 限	中山 茂樹	T1N 5
T1N032001	建築設備計画 I	3 年前期月曜 3 限	川瀬 貴晴	T1N 6
T1N046001	建築の保全と再生	3 年前期木曜 2 限	MORRIS MARTIN NORMAN 他	T1N 7
T1N050001	近・現代建築論	3 年前期木曜 4 限	岡田 哲史	T1N 8
T1N054001	構造設計演習 II	3 年前期金曜 2 限	柏崎 隆志	T1N 9
T1N055001	荷重外力論	3 年前期火曜 3 限前半	高橋 徹	T1N 10
T1N069001	建築振動論	4 年前期水曜 2 限	中村 友紀子	T1N 11

授業科目名	: 建築の構造
担当教員	: 和泉 信之
年次・開講時限	: 1 年前期金曜 2,3 限 1 期
授業コード	: T1N003001
授業アンケート	: 回答者数 57 人 / 受講者数 76 人 (回収率 75%)

1. 選定された授業アンケート項目に対する回答

Q5. 板書, OHP, スライドなどは, 見やすかったですか? (回答 57 件)

建築学科のプロジェクトを使用しているため, 教室の機器に比べてスライドの見やすさ (平均 4.74) は向上しているようですが, 更に工夫していききたいと思います。

Q7. 教室の環境は満足できるものですか? (回答 57 件)

教室の環境は平均 4.05 ですが, 温熱・空気環境の改善を求めています。

Q30. この授業で改善すべき点について記入してください。 (回答 6 件)

授業中の私語については注意していますが, 更に徹底していきます。また, スライドの操作速度については留意していききたいと思います。

2. 授業アンケート全体に対するコメント

授業の理解度は 4.17、満足度は 4.39 であり、多くの受講者が概ね授業内容を理解することができ、良好な評価が得られたと思います。また、教材の効果は 4.25、例題のわかりやすさは 4.47、レポートの役割は 4.31 であり、講義要点ノート、小レポートなどが受講者の理解に役立ったと考えられます。スライドの見やすさは 4.74、教員の声は 4.70 であり、ほぼ全てのスライドを見て説明を聴くことができたと思われます。今後とも、受講者が授業内容を理解できるように、改善していきます。

3. その他のコメントや連絡事項

今年度は「質問シート」を配布して、授業の進捗に応じて質問を受けつけて、適宜授業中に回答する方式を実施しました。Q14: 質問実施 (4.33) や Q29: 授業の良い点を見ますと、授業内容の理解に役立つというコメントが複数あり、概ね好評であったようです。今後も、回答のタイミングや時間を工夫して実施していききたいと思います。

作成(者): 和泉信之

授業科目名	: 建築設計学
担当教員	: 鈴木 弘樹
年次・開講時限	: 2 年前期火曜 2 限
授業コード	: T1N012001
授業アンケート	: 回答者数 49 人 / 受講者数 81 人 (回収率 60%)

1. 選定された授業アンケート項目に対する回答

Q1. この講義のシラバスについて、該当するものを全て選択して下さい。(回答 48 件)

初回の授業で補足資料として予定を配り説明をしています。概ね好評であるため引き続き継続したいと思います。来年はその内容をシラバスに反映もしていきたいと思います。

Q3. 教員の声はよく聞こえましたか？(回答 47 件)

声の大きさは適切だったようですが、教員側の要望としてマイクの性能、空調の設備、換気などを改善してほしいと感じています。

Q5. 板書, OHP, スライドなどは、見やすかったですか？(回答 48 件)

概ねスライドの内容は良いようですが、若干字が小さい部分があるので、改善したいと思います。

2. 授業アンケート全体に対するコメント

建築設計の初学的な授業のため事例紹介やその背景、考え方をできるだけ多く伝えるように進めています。今後も内容を充実していきたいと思います。設計の授業と連動、また、事前に知識として身につけてほしい内容を授業に取り入れてますが、若干改善が必要な個所があったので、来年に向け改善していきたいと思います。

3. その他のコメントや連絡事項

学生から質問がほとんどないため、質問があれば積極的に聞いてください。また、遅刻が目立ちます。教員からの要望として改善してほしい点です。

作成(者): 鈴木弘樹

授業科目名	: 建築環境計画 I
担当教員	: 宗方 淳
年次・開講時限	: 2 年前期月曜 1 限
授業コード	: T1N015001
授業アンケート	: 回答者数 44 人 / 受講者数 80 人 (回収率 55%)

1. 選定された授業アンケート項目に対する回答

Q2. 教材は授業の理解に役立ちましたか? (回答 43 件)

講義で用いるスライドを Moodle に掲載しているが概ね好評価のようである。

Q3. 教員の声はよく聞こえましたか? (回答 43 件)

大半は問題ないようであるが、一部から速すぎるとの指摘をもらっている。例年よりは減ったようにも思えるが、継続して意識したい。

Q14. あなたはこの授業で質問をしましたか? (回答 43 件)

講義中に質問を受けることは殆ど無いのは日本の講義によくある風景であり、本科目も同様であるが、「はい」「ややそういえる」が合計 5 名いるのは心強い。講義終了後に教壇に近づき質問することでも良いので、積極的に理解を深めて欲しい。

2. 授業アンケート全体に対するコメント

授業目標の到達度は試験結果だけではなく、今後の設計課題の場などで本講義の内容を思い出せるかでも判断して欲しい。

3. その他のコメントや連絡事項

2014 年度から林先生と宗方の二名体制で本講義と演習を分担します。これまでと進め方に変更もある場面もありえるので、適宜指示を確認してください

作成(者): 宗方淳

授業科目名	: 建築材料
担当教員	: 前田 孝一
年次・開講時限	: 2 年前期水曜 2 限
授業コード	: T1N019001
授業アンケート	: 回答者数 45 人 / 受講者数 81 人 (回収率 56%)

1. 選定された授業アンケート項目に対する回答
2. 授業アンケート全体に対するコメント
3. その他のコメントや連絡事項
セメントの水和に関する実験を是非して欲しい。

作成(者): 前田孝一

授業科目名	: 施設デザイン計画 I
担当教員	: 中山 茂樹
年次・開講時限	: 3 年前期月曜 4 限
授業コード	: T1N029001
授業アンケート	: 回答者数 40 人 / 受講者数 54 人 (回収率 74%)

1. 選定された授業アンケート項目に対する回答

Q5. 板書, OHP, スライドなどは, 見やすかったですか? (回答 39 件)

スライドデータは紙に印刷して配布している。しかし、教室の広さに対してスクリーンが小さい。教団周りのスペースからするともっと大きなスクリーンが設置できるはずで、そうなれば、見難かったという批判は減るものと確信している。

Q13. あなたは毎回の授業の準備学習・復習に平均してどの程度の時間をかけましたか? (回答 39 件)

この講義は演習とセットになっているもので、講義でのテーマを演習で再確認するよう課題を設定している。したがって、講義時間以外の復習作業が減るものと思う。2 コマの完結講義・演習でそれなりの内容を理解すれば、ある程度達成できているものと考えている。

2. 授業アンケート全体に対するコメント

施設デザイン科目は、建築設計を意識した科目です。建築とは何か、設計とは何か、を理解し、設計行為がスムーズに行えるような内容を意識して講義内容は構成されています。

なお、配布資料はスライドで説明する内容を補足すべく、ノートとして活用してもらうために配布していますので、これだけを見ても講義内容は理解できません。聴講時に配布資料の中身を充実するように努めて下さい。

3. その他のコメントや連絡事項

建築設計は雰囲気や一人よがりの自己満足で行う行為ではありません。当講義では建築技術者として設計にどのように立ち向かうべきかを考えてもらいます。また実践的なトピックを取上げ、設計課題ではなかなか扱わないコスト意識、建築のビジネスモデルといった視点にも注視しています。

作成(者): 中山茂樹

授業科目名	: 建築設備計画 I
担当教員	: 川瀬 貴晴
年次・開講時限	: 3 年前期月曜 3 限
授業コード	: T1N032001
授業アンケート	: 回答者数 44 人 / 受講者数 66 人 (回収率 67%)

1. 選定された授業アンケート項目に対する回答

Q2. 教材は授業の理解に役立ちましたか? (回答 43 件)

指定する教科書をベースに授業を進めるので教科書の予習復習を必ず行ってください。

Q13. あなたは毎回の授業の準備学習・復習に平均してどの程度の時間をかけましたか? (回答 42 件)

予習復習とも基本は 90 分ですが最低 30 分予習復習を行えば理解度は飛躍的に高まると思います。

2. 授業アンケート全体に対するコメント

この授業は建築設備にかかわる基本的事項を対象にしていますが、将来一級建築士などを受験する場合には必須の基礎知識です。実際の建築設計ではこの応用知識が重要なので、各自この基礎を超えてできるだけ幅広い興味と関心を持って学んでください。

3. その他のコメントや連絡事項

授業中できるだけ発言をするように心がけてください。授業後も含めて質問は大歓迎です。

作成(者): 川瀬 貴晴

授業科目名	: 建築の保全と再生
担当教員	: MORRIS MARTIN NORMAN, 穎原 澄子
年次・開講時限	: 3年前期木曜 2 限
授業コード	: T1N046001
授業アンケート	: 回答者数 13 人 / 受講者数 25 人 (回収率 52%)

1. 選定された授業アンケート項目に対する回答

Q3. 教員の声はよく聞こえましたか? (回答 12 件)

内容の検討とともに、より聞き取りやすくするように務める。(穎原)

2. 授業アンケート全体に対するコメント

大方、授業の内容は理解され、満足度も高かった。スライド自体は見やすいとの大方の評価だが、文字図版はより良く見えるよう改善して行きたい。(穎原)

3. その他のコメントや連絡事項

内容について、質問、意見等含めてより活発な意見交換を期待したい。(穎原)

作成(者): 穎原澄子

授業科目名	: 近・現代建築論
担当教員	: 岡田 哲史
年次・開講時限	: 3 年前期木曜 4 限
授業コード	: T1N050001
授業アンケート	: 回答者数 51 人 / 受講者数 76 人 (回収率 67%)

1. 選定された授業アンケート項目に対する回答

Q16. 全体を通して、この授業に満足しましたか? (回答 50 件)

まず、本授業に満足してくれた学生が、「はい」が 48%、「ややそうである」が 28%で、あわせて 76%であったことはうれしく思います。

Q12. あなたはこの授業にどの程度出席しましたか? (回答 49 件)

出席についても、「全回」が 71.4%で、「4/5 程度」で併せて 100%であったという結果もとても満足のいくものでうれしく思います。

Q11. 授業内容の量を考慮すると、進度は適切でしたか? (回答 50 件)

この件も、「はい」が 50%、「ややそういえる」が 20%で併せて 70%という結果は、今後の指標にとって大切なデータです。

2. 授業アンケート全体に対するコメント

一般的な話ですが、私は今回の皆様のアンケート結果を嬉しく思いますし、とても満足しています。今後もみなさんの意見を反映させて、よいよい授業が運営できるよう工夫していきたいと思っています。

3. その他のコメントや連絡事項

とくになし。

作成(者): 岡田哲史

授業科目名	: 構造設計演習 II
担当教員	: 柏崎 隆志
年次・開講時限	: 3 年前期金曜 2 限
授業コード	: T1N054001
授業アンケート	: 回答者数 52 人 / 受講者数 81 人 (回収率 64%)

1. 選定された授業アンケート項目に対する回答

Q2. 教材は授業の理解に役立ちましたか? (回答 51 件)

概ね高評価と思う。今後も継続したい。

Q3. 教員の声はよく聞こえましたか? (回答 50 件)

概ね高評価と思う。今後も継続したい。

Q5. 板書, OHP, スライドなどは, 見やすかったですか? (回答 51 件)

概ね高評価と思う。今後も継続したい。

Q9. 例題, 例え話やサンプル等がわかりやすかったですか? (回答 51 件)

概ね高評価と思う。今後も継続したい。

Q10. 授業では宿題, レポート等が理解を助けるのに役立ちましたか? (回答 51 件)

概ね高評価と思う。今後も継続したい。

Q11. 授業内容の量を考慮すると, 進度は適切でしたか? (回答 51 件)

概ね高評価と思う。今後も継続したい。

Q14. あなたはこの授業で質問をしましたか? (回答 51 件)

さらなるポイントアップを目指し, 質問しやすい環境を作るように心掛けたい。

Q15. この授業の内容をよく理解できましたか? (回答 51 件)

概ね高評価と思う。今後も継続したい。

Q16. 全体を通して, この授業に満足しましたか? (回答 50 件)

概ね高評価と思う。今後も継続したい。

Q18. あなたはこの演習・実験・実習科目を受講することによって, 対応する講義の理解が深まりましたか? (回答 37 件)

概ね高評価と思う。今後も継続したい。

Q19. 演習は対応する講義の進度と適切に連動していましたか? (回答 36 件)

対応講義との連携をさらに強めていきたい。

2. 授業アンケート全体に対するコメント

3. その他のコメントや連絡事項

作成(者): 柏崎隆志

授業科目名	: 荷重外力論
担当教員	: 高橋 徹
年次・開講時限	: 3 年前期火曜 3 限前半
授業コード	: T1N055001
授業アンケート	: 回答者数 25 人 / 受講者数 40 人 (回収率 63%)

1. 選定された授業アンケート項目に対する回答

Q2. 教材は授業の理解に役立ちましたか? (回答 23 件)

パワーポイント資料を Web からダウンロードできるようにしているために「役に立った」とする比率が高いものと考えますが、「どちらともいえない」という学生が 3 名いるのは、今やそれも普通だ、と考える学生も出てきたということか。授業に出ずにそれを読んだだけではよくわからないのは授業冒頭でも指摘していることである。

Q13. あなたは毎回の授業の準備学習・復習に平均してどの程度の時間をかけましたか? (回答 25 件)

1 時間未満から 4 時間以上まで、平均を 1.2 時間として大きくばらついている。構造系の授業の常として、これ以前に学んだ他の授業内容をきちんと理解していないと課題をやり遂げることが難しいという特性があるので、致し方のないところかと考える。

Q14. あなたはこの授業で質問をしましたか? (回答 24 件)

過去のアンケートに比べると「質問をした」比率が高くなっているが、アンケートに「時間外を含む」と明記されたのが大きいだろう。課題の問合せに時間外に訪問する学生はこれまでも結構居たと思うが、大変結構なことだと考えている。

2. 授業アンケート全体に対するコメント

この授業の内容は計画系に進む学生でも社会に出てから必要となる基礎的な内容である。授業が終わった時点で完全に理解したとは言えないまでも、聞いたことはあるな、くらいに記憶しておいてほしい。そうすれば、社会に出てから正しく理解する助けとなるであろう。

3. その他のコメントや連絡事項

授業は前回のレポート課題の解説、当日のメインの単元講義、次回までのレポート課題の出題、という順番で、パワーポイントだけでなく黒板で補いながら進行する。本音をいえば、黒板はスクリーンと被らない面積がもう少しほしい。レポート課題提出は次回授業の前日を締切とし、到達度をチェックした上で返却の上解説を行う。従って、授業に遅刻すると理解度が深まらない、という悪循環に陥りがちである。その辺を心得て臨んでほしい。

作成(者): 高橋 徹

授業科目名	: 建築振動論
担当教員	: 中村 友紀子
年次・開講時限	: 4 年前期水曜 2 限
授業コード	: T1N069001
授業アンケート	: 回答者数 19 人 / 受講者数 23 人 (回収率 83%)

1. 選定された授業アンケート項目に対する回答

Q5. 板書, OHP, スライドなどは, 見やすかったですか? (回答 19 件)
改善に努めます。

2. 授業アンケート全体に対するコメント

線形常微分方程式の解法を学習していない学生がほとんどだと分かったので, 少し考えたい。

3. その他のコメントや連絡事項

授業アンケートが実施される時代になってから, 難しすぎると苦情を解消するため, 予習復習がほとんど無くとも理解できる内容に縛る傾向があるように感じています。

作成(者): 中村